

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

平成 29 事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成 16 年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における平成 29 事業年度財務諸表の概要は以下のとおりです。

<貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（平成 30 年 3 月 31 日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位:百万円、%)									
区分	平成28年度	平成29年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成28年度	平成29年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
資産の部					負債の部				
有形固定資産	97,252	94,459	△ 2,792	△ 2.8	資産見返負債	32,392	31,131	△ 1,261	△ 3.8
土地	28,839	28,839	0	0.0	引当金	-	-	-	-
建物	31,600	30,756	△ 844	△ 2.6	資産除去債務	517	528	10	1.9
構築物	907	831	△ 76	△ 8.4	長期未払金	1,048	3,047	1,998	190.6
工具器具備品	25,840	23,799	△ 2,040	△ 7.8	固定負債合計	33,959	34,707	748	2.2
建設仮勘定	7,258	7,440	181	2.5	運営費交付金債務	1,693	2,018	324	19.1
その他	2,805	2,792	△ 13	△ 0.4	寄附金債務	1,166	1,234	68	5.8
無形固定資産	5,378	5,674	296	5.5	前受金等	469	655	185	39.5
投資その他の資産	54	60	6	11.5	預り科学研究費補助金	436	432	△ 4	△ 1.0
固定資産合計	102,684	100,194	△ 2,490	△ 2.4	未払金	7,704	7,714	9	0.1
現金及び預金	8,032	9,580	1,547	19.2	その他	234	63	△ 170	△ 72.8
未収入金	811	102	△ 709	△ 87.3	流動負債合計	11,704	12,117	412	3.5
たな卸資産	340	344	4	1.3	負債合計	45,664	46,825	1,160	2.5
前払費用	1,197	605	△ 592	△ 49.4	純資産の部				
その他	21	111	89	412.4	資本金(政府出資金)	75,038	75,038	0	0.0
流動資産合計	10,403	10,743	339	3.2	資本剰余金	△ 7,871	△ 11,231	△ 3,360	42.6
資産合計	113,088	110,938	△ 2,150	△ 1.9	利益剰余金	257	306	48	18.8
					重点研究推進積立金	0	0	0	-
					積立金	0	0	0	-
					当期未処分利益	△ 150	48	199	△ 132.3
					純資産合計	67,424	64,113	△ 3,311	△ 4.9
					負債純資産合計	113,088	110,938	△ 2,150	△ 1.9

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 資産

資産総額は 1,109 億円で、前年度に比べ 21 億円減少（1.9%減）しました。これは工具器具備品の減価償却等により 20 億円減少したことなどによるものです。

◆ 負債

負債総額は 468 億円で、前年度に比べ 11.6 億円増加（2.5%増）しました。これは高性能分子シミュレーションシステムなどの新規のリース契約の締結により、長期未払金が 19.9 億円増加したことなどによるものです。

◆ 純資産

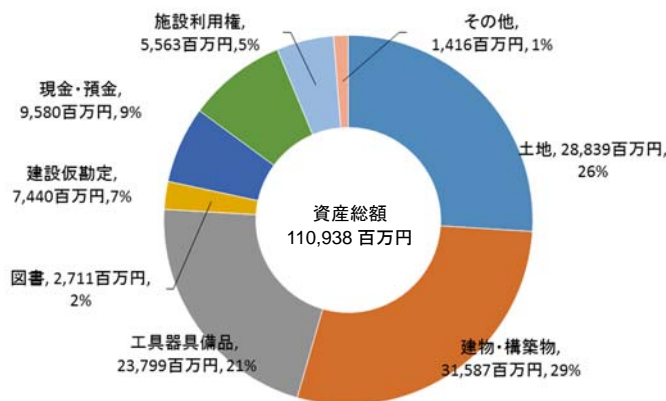
純資産総額は 641 億円で、前年度に比べ 33 億円減少（4.9%減）しました。

これは資本剰余金が、施設費などで取得した資産によって増加した一方で、損益外減価償却により減少し、総じて 33 億円減少したことなどが理由に挙げられます。

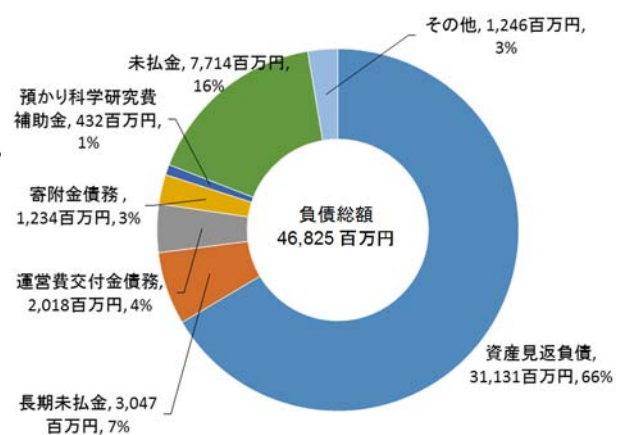
（「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成 19 年度から従来の「資本」から名称変更したものです。）

◆ 資産・負債の構成内訳

【資産の部】



【負債の部】



< 損益計算書 >

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）におけるすべての費用と収益を記載しています。

(単位:百万円、%)

区分	平成28年度	平成29年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成28年度	平成29年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
経常費用 a	34,204	35,066	861	2.5	経常収益 o	33,924	35,114	1,189	3.5
業務費	32,343	33,325	982	3.0	運営費交付金収益	24,541	25,014	472	1.9
教育経費	3	3	0	△ 0.9	大学院教育収益	271	263	△ 7	△ 2.7
大学院教育経費	180	185	5	2.9	受託研究等収益	1,984	2,106	121	6.1
研究経費	3,259	3,178	△ 80	△ 2.5	寄附金収益	296	241	△ 55	△ 18.6
共同利用・共同研究経費	13,537	14,310	772	5.7	施設費収益	35	119	84	240.6
教育研究支援経費	2,765	2,778	12	0.4	補助金等収益	437	1,847	1,410	322.4
受託研究費等	1,969	2,105	136	6.9	資産見返負債戻入	5,569	4,583	△ 986	△ 17.7
人件費	10,625	10,762	136	1.3	財務収益	38	69	30	79.6
一般管理費	1,813	1,709	△ 104	△ 5.8	雑益	749	867	117	15.7
財務費用・雑損	47	31	△ 16	△ 34.9	経常利益 d=o-a	△ 280	48	328	-
臨時損失 b	132	32	△ 100	△ 75.8	臨時利益 e	128	32	△ 96	△ 74.7
					当期純利益 f=o-b+d	△ 284	48	332	-
					目的積立金取崩額 g	133	0	△ 133	-
					当期総損失/利益 f+g	△ 150	48	199	-

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 経常費用

経常費用の総額は 350 億円で、前年度に比べ 8 億円増加（2.5%増）しました。これは LHD 関連経費の増加等により共同利用・共同研究経費が 7.7 億円増加したことなどが理由に挙げられます。

◆ 臨時損失

臨時損失の総額は0.3億円で、固定資産の除却（残存価額相当分）を計上しています。

◆ 経常収益

経常収益の総額は351億円で、前年度に比べ11億円増加（3.5%増）しました。これは、補助金が新規で交付されたことによって、補助金等収益が14億円増加したことなどが理由に挙げられます。

◆ 臨時利益

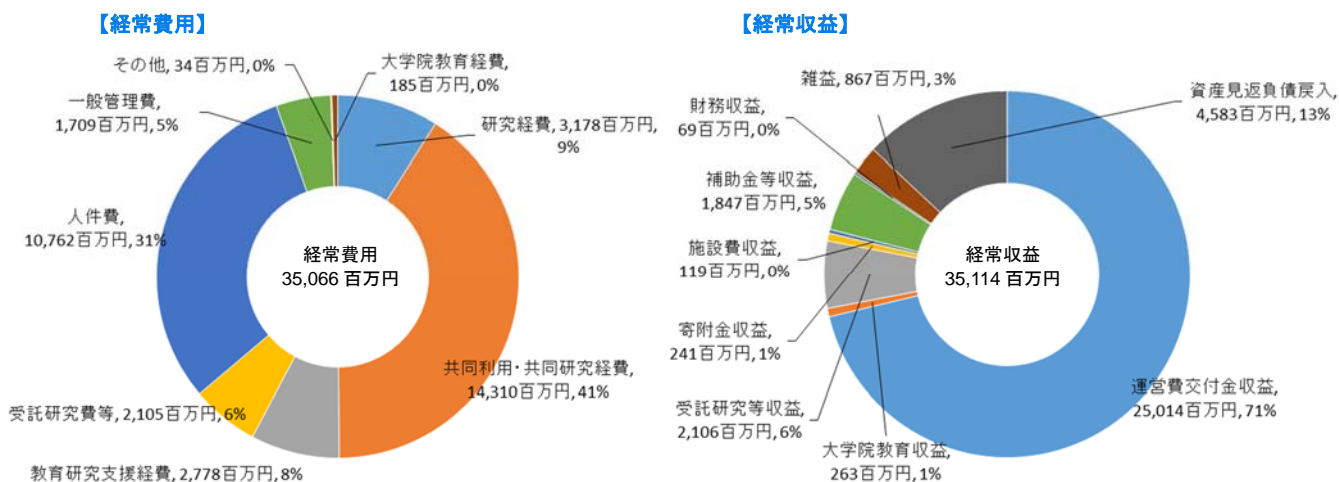
臨時利益の総額は0.3億円で、固定資産の除却に伴う資産見返負債戻入のほか、固定資産売却益を計上しています。

◆ 当期総利益

収益から費用を差し引いた0.4億円が当期総利益となります。

利益を計上するに至った主な理由は、ファイナンスリース取引特有の会計処理によるものや、国立大学法人会計基準に則り処理した結果発生する資産見返負債の立たない資産の取得及び費用化によるものの差額による利益を計上したことなどが挙げられます。

◆ 経常費用・経常収益の構成内訳



(お問合せ先)

自然科学研究機構 事務局財務課財務係

電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049